

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001674
事業所名	フレンズハウス中島新町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	法人代表が自治会長に就任したことで、運営推進会議時や日常的にも地域との情報や交流が図られている。消防署の指導を基にした避難訓練や消火器の使用方法を地域住民にも発信している。中学生の体験学習の受け入れや落語などの多種多様なボランティアも積極的に行われている。地域のお祭りや行事、廃品回収の参加協力も行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	2ヶ月ごとに定期的開催されている。いきいき支援センター職員や法人のケアマネジャーや利用者が参加して、ホームの行事や近況と利用者の状態報告をしている。地域の情報や協力を得るなどの相談や交流の場となっている。また高齢者の事故や詐欺時間の対応や対策についての話し合も行われている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	近隣区役所の介護課や保護課に訪問して、空き状況等の情報提供を行っている。市やいきいき支援センター・社会福祉協議会が主催するキャリアアップ研修に介護関係の研修にも管理者や職員が積極的に参加している。区役所主催の情報伝達訓練に参加して、災害時にも市町村や地域と連携が図れるように努めている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	管理者や職員は家族の面会時には利用者の状態や生活の様子を伝えるとともに、家族からの意見や要望を聞けるように努めている。出された意見や要望は職員全体で共有して改善に取り組んでいる。毎月の近況報告や翌月の予定を家族に伝えたり、年2回ホーム便りを発行する事で、家族の参加協力が得られるように努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	×	×	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。